

# 特集・逝ける映画人を偲んで (1974~75)

映画史に光彩を放った秀作の創造に大きく貢献し、近年(1974~75)惜しまれつつ逝去された内外の映画監督、脚本家ならびに俳優を偲んで、それぞれの代表的作品により生前の業績を回顧することとし、ここに「特集・逝ける映画人を偲んで」を企画開催いたします。ひろく映画愛好者のかたがたの御鑑賞をおすすめします。 **フィルムセンター**

1975年9月9日~10月15日 日曜・祝日休館

\* = 日本語字幕なし

午後3時・6時15分上映開始 一般100円・学生70円・小人50円

期 日	曜 日	題 名	製 作 年	監 督	出 演 者
9月9日	火	少年探偵団	独・1932年	ゲルハルト・ランプレヒト	ロルフ・ヴェンクハウス、ケーテ・ハーク
10日	水	アンジェール*	仏・1934年	マルセル・パニョール	フェルナンデル、オラーヌ・ドゥマジス、ジャン・セルヴェ
11日	木	わが谷は緑なりき*	米・1941年	ジョン・フォード	ドナルド・クリスプ、モーリン・オハラ、ウォルター・ピジョン
12日	金	制服の処女	独・1931年	レオンティーネ・ザガン	ドロテア・ヴィーク、ヘルタ・ティーレ、エミリア・ウンダ
16日	火	会議は踊る	独・1931年	エリック・シャレル	ヴィリ・フリッチュ、リリアン・ハーヴェイ、コンラート・ファイト
17日	水	深夜の超特急	英・1957年	コンプトン・ベネット	リー・パターソン、ケイ・カラード、アラン・ギフォード
18日	木	綴方教室	日・1938年	山本嘉次郎	高峰秀子、徳川夢声、清川虹子、滝沢修
19日	金	馬	日・1941年	"	高峰秀子、藤原釜足、竹久千恵子
22日	月	ハワイ・マレー沖海戦	日・1942年	"	大河内伝次郎、原節子、英百合子、伊藤薫
23日	火	五人の斥候兵	日・1938年	田坂具隆	小杉勇、伊沢一郎、見明凡太郎、井染四郎
25日	木	路傍の石	日・1938年	"	片山明彦、小杉勇、滝花久子、山本礼三郎
26日	金	はだかっ子	日・1961年	"	伊藤敏孝、有馬稲子、三国連太郎、小宮光江
29日	月	冷飯とおさんとちゃん	日・1965年	"	中村錦之助、三田佳子、新珠三千代、森光子
30日	火	新しき土	日・独・1937年	アーノルド・ファンク	原節子、小杉勇、ルート・エベラー、早川雪州
10月1日	水	自転車泥棒	伊・1948年	ヴィットリオ・デ・シーカ	ランベルト・マジョラーニ、エンツォ・スタヨラ
2日	木	屋 根	伊・1959年	"	ガブリエラ・パロッチェ、ジョルジョ・リストツツィ
3日	金	百万両の壺	日・1935年	山中貞雄	沢村国太郎、大河内伝次郎、花井蘭子、喜代三
6日	月	鉄道員	伊・1956年	ピエトロ・ジェルミ	ピエトロ・ジェルミ、エドアルド・ネヴォア
7日	火	イタリア式離婚狂想曲	伊・1962年	"	マルチェロ・マストロヤンニ、ダニエラ・ロッカ
8日	水	最後の戦闘機	仏・1935年	アナトール・リトヴァク	シャルル・ヴァネル、J=P・オーモン、アナベラ
9日	木	大いなる幻影	仏・1937年	ジャン・ルノワール	ピエール・フレネ、ジャン・ギャバン、ディタ・パロ
13日	月	女だけの都	仏・1935年	ジャック・フェデー	(脚本)シャルル・スパーク、 <del>ジャン・ルノワール</del>
14日	火	パニック	仏・1946年	ジュリアン・デュヴィヴィエ	ミシェル・シモン、ヴィヴィアヌ・ロマンス、ポール・ベルナル
15日	水	おかあさん	日・1952年	成瀬巳喜男	加東大介、田中絹代、香川京子、岡田英次

**Gerhard LAMPRECHT** 1897年10月6日ベルリンに生まれる。1914年から脚本家として映画界で活躍、23年「ブッテンブローク家」で監督となり、25年「第五階級」により一流監督に伍した。トーキー以後「黒騎士」「ヴェニスの舟唄」等代表作を発表した。ベルリンの映画保存所創設者の一人で、サイレント時代のドイツ映画に精通する映画史家として著名。1974年3月没。享年76歳。

**Marcel PAGNOL** 1895年2月28日マルセーユ郊外に生まれる。25年戯曲《栄光を売る商人》で劇壇にデビュー、29年《マリウス》に続く《ファニー》《セザール》の三部作で決定的地位を得た。トーキー映画の出現と共に映画界に乗り出し、「アンジェール」は第一回監督作品。1974年4月24日没。享年79歳。

**Donald CRISP** 1880年7月27日スコットランドに生まれる。1906年アメリカへ渡りグリフィス監督の助手を勤め、15年「国民の創生」、19年「散り行く花」などに出演、無声期に監督として「海底王キートン」「ドンQ」などがあり、「わが谷は緑なりき」ではアカデミー助演男優賞を受けた。1974年5月26日没。享年93歳。

**Leontine SAGAN** 1889年ウィーンに生まれ舞台女優としてデビュー後、1931年ヴェテラン監督カール・フレリヒの監修のもとに『制服の処女』を演出し、一躍世界的にその名を知られるようになった。32年英国に亡命し、アレクザンダー・コルダのもとで「明日の人たち」を監督したが前作に及ばなかった。1974年5月没。享年85歳。

**Erich CHARELL** プレスラウで生まれたが生年月日不詳。軽喜劇、オペレッタ、レビューなどの舞台演出で有名となり、トーキー時代を迎えてウーファ社のエリヒ・ポマーにその才能を認められ31年「会議は踊る」を監督して国際的名声を得る。ハリウッドに招かれて34年「キャラバン」を演出したが前作に及ばず、舞台演出に戻った。1974年9月15日没。

**Compton BENNETT** 1900年1月15日タンブリッジ・ウェルズ生まれ。大戦勃発までロンドン・フィルムの映画編集をつとめ、後空軍用の短編映画を監督、44年「ロッヂデイルの男たち」で監督となる。48年~51年ハリウッドに滞在したが51年帰英、1974年8月13日死去。享年74歳。

**山本嘉次郎** 1902年3月15日東京生まれ。日活向島で助監督の後、24年東亜キネマに移って「断雲」で監督となり、高松プロで俳優、日活の脚本部を経て、34年PCLに入社して「ちゃっきり金太」を代表とする榎本健一とのコンビで多数の喜劇を監督した。ドキュメンタリー的手法の作品やスペクタクル映画などもこなして戦前の大監督の一人として活躍、門下より黒沢明監督を送り出した。戦後は大衆娯楽性にあふれた作品が多く、その博識振りで映画界以外の世界でも活躍した。1974年9月21日没。享年72歳。

**田坂具隆** 1902年4月14日広島県生まれ。三高中退後新聞記者生活を経て、24年日活京都撮影所入社。26年「かぼちゃ騒動記」で監督となり、同じ頃スタートした内田吐夢とは日活多摩川での良きライバルであった。広島で被爆したが再起し、ヒューマニズムあふれる作品で代表的監督の地位を築き、新人の育成にも大きな手腕を示した。夫人は女優の滝花久子。1974年10月17日没。享年72歳。

**Arnold FANCK** 1889年フランケンタールで生まれ、地質学者として世に出たあと、13年にスキーを主題にしたドキュメンタリー映画を作る。19年から本格的映画作家として活動を開始し、「スキーの驚異」「狐狩り」を経て26年「聖山」で山岳映画の巨匠となる。37年来日して伊丹万作との共同監督、原節子主演で「新しき土」を監督した。代表作「死の銀嶺」「S O S 氷山」「モンブランの王者」など。1974年10月17日没。享年85歳。

**Vittorio DE SICA** 1901年7月7日ローマの南ソーラに生まれ、22年喜劇「愛の夢」で初舞台を踏み、28年マリオ・アルミランテ監督の喜劇「気違い仲間」で映画にデビュー、32年「老婦人」以来イタリア映画の人気スターとなる。40年「紅バラ」で監督に転じ46年「靴みがき」を発表してネオレアリズモの旗頭の一人として世界的名声を博し、74年「旅愁」まで多くの名作を世に送った。1974年11月13日パリで死去。享年73歳。

**沢村国太郎** 本名加藤友一。1905年6月19日浅草生まれ。沢村宗十郎の門に入り13年帝劇で初舞台を踏み歌舞伎役者として活躍、24年四代目沢村国太郎を襲名。29年マキノ省三に招かれ映画界に入り「旗本小普請衆」にデビュー、マキノ解散後東活、日活に移り「丹下左膳」「清水港」などで二枚目スターとして活躍、200本近い映画に出演。戦後は妹の沢村貞子、弟の加東大介らと劇団「新伎座」を結成した。夫人は日本映画創草期の一人牧野省三の長女マキノ智子であり、その実弟にマキノ雅弘監督、子供は長門裕之、津川雅彦という芸能一家として有名。1974年11月26日死去。享年69歳。

**Pietro GERMI** 1914年9月14日ジェノバ市生まれ。各種の職業を転々とした後ローマの映画実験センターに入り、45年処女監督作「証人」で注目を浴び、第4作「越境者」(50)で世界的名声を得た。「鉄道員」「わらの男」「刑事」では自から主役を演じて好評を博したが1974年12月5日肝臓ガンのためローマで死去。遺作は72年「アルフレード アルフレード」。享年60歳。

**Anatol LITVAK** 1902年5月15日キエフ生まれ。23年レニングラードで俳優として出発した後ドイツに渡り、30年監督になって、31年「女人禁制」、32年「今宵こそは」で注目されたが、ナチが政権につくとフランスに亡命して幾多秀作を発表。37年渡米して56年「追想」、61年「さよならをもう一度」、66年「將軍たちの夜」などで才能を發揮、74年12月15日ガンのためパリ郊外で死去。70年「殺意の週末」が遺作となった。享年72歳。

**Pierre FRESNAY** 1897年4月2日パリ生まれ。幼い頃から演劇に惹かれて15~27年にコメディ・フランセーズの舞台に立ち、36年までブルヴァールの各劇場に出演し、以後ミジョディエール劇場の支配人となる。映画には15年から出演しているが、パニョールの三部作31年「マリウス」、32年「ファニー」、36年「セザール」で名声を獲得した。1975年1月9日死去。享年77歳。

**Charles SPAAK** 1903年5月25日ブリュセルで生まれ、中等教育を終えて法学博士の称号をとった。劇作家としてデビューした後28年パリに移り、故ジャック・フェデー監督の秘書となり、28年フェデー監督の「俄か紳士」で脚本家としてデビュー、以後フェデーの女性三部作を始めとして、デュヴィヴィエ、ルノワール等との仕事は30年代フランス映画の黄金時代を築く一翼を担った。75年2月4日死去。享年71歳。

**Michel SIMON** 1895年4月9日ジュネーブで生まれ、1911年パリに出て各種の職業を経た後22年にサシャ・ピトエフに認められて彼の劇団に入り、ついでルイ・ジュールヴェ劇団で活躍。映画界には、25年「生けるパスカル」でデビューして以来、1975年5月30日パリで死去するまで、その特異なマスクと共にフランス映画界の元老的性格俳優であった。享年80歳。

**加東大介** 本名加藤徳之助。1911年2月18日狂言作家竹楽伝蔵の次男として東京に生まれ、実兄は故沢村国太郎、実姉は沢村貞子、甥には長門裕之、津川雅彦らに囲まれた文字通りの芸能一家。左団次一座から前進座に移って市川彦司の芸名で活躍、PCL映画「戦国群盗伝」などに出演。戦後の48年映画界に入って加東大介と改名し「羅生門」「七人の侍」などに出演した後、「大番」シリーズ四作で主役の座を占めた他、東宝の社長シリーズの常連として親しまれた。従軍中の体験を書いたエッセー「南の島に雪が降る」で文春読者賞を得、自身の出演で映画化、舞台化された。32年「おかあさん」「決闘鍵屋の辻」等で毎日映画コンクール助演賞、55年「血槍富士」「ここに泉あり」等でブルーリボン助演賞を受賞、その実直な人柄とユーモアを合わせもち、映画、舞台、テレビと幅広く活躍して親しまれた。1975年7月31日ガンのため死去。享年64歳。

## 土曜特集：映画史上の名作

\* 開映時間、料金は平常と同じ

期 日	題 名	製 作 年	監 督	出 演 者
9月13日(土)	落ちた偶像	英・1948年	キャロル・リード	ラルフ・リチャードソン、ミシェール・モルガン
20日(土)	第三の男	英・1949年	"	ジョゼフ・コットン、オーソン・ウェルズ
27日(土)	破 戒	松竹・1948年	木下 恵 介	池部良、桂木洋子、宇野重吉
10月4日(土)	御詠治郎吉格子(無声)	日活・1931年	伊 藤 大 輔	大河内伝次郎、伏見信子
11日(土)	妻よ薔薇のやうに	PCL・1935年	成 瀬 巳 喜 男	丸山定夫、英百合子、千葉早智子